

脱原発社会を目指そう！ 静岡地本山本委員長の投稿が新聞に掲載！

福島第1原発爆発事故を受け、原発の安全神話が崩壊し、原発に頼らないエネルギー政策の転換を求める世論が広がりつつあります。日本は地震大国で、国内全ての原発は地震の危機にさらされています。その中でも特に浜岡原発は、いつ発生してもおかしくない東海地震の想定震源域の中央に位置しています。

このような中、静岡地本山本委員長は浜岡原発の問題について、静岡新聞に投稿し4月29日朝刊に掲載されました。

いま、浜岡原発が危ない！
電力は原子力がなくても、
火力・水力で十分まかなえる！

ひるば

脱原発表明の
知事姿勢支持

川根本町・山本 繁明
(会社員 48歳)

23日付本紙「知事『新設認められない』」を読んだ。川勝知事が中部電力浜岡原発6号機新設と4号機プルサーマル計画について安全対策を疑問視し、国はエネルギー政策の転換を踏まえた脱原発の視点で電源政策を推進すべきとの立場を表明したことを、強く支持したい。

耐震補強が困難として廃炉が決定した1、2号機にも使用済み燃料が保管されていることに身震いをおぼえたのは私だけではないと思う。福島第1原発4号機燃料プールのトラブルを見ると、東海地震を恐怖せざるをえない。

先日、静岡市内の2カ所で開催された原子力識者による講演会には、合

わせて千人以上の聴講があった。多くの人々が、原子力政策と原発事故の正確な情報と知識、脱原発への方策を求めている。

原発による恩恵を受けた世代は次世代に不安と恐怖を残さぬよう、原発に頼るエネルギー政策を精算しなければいけない。今後の川勝知事のリーダーシップに強く期待したい。

静岡新聞
4月29日朝刊